

東北新幹線 福島～白石蔵王駅間 保守用車両（確認車）が故障した事象について

4月2日（火）5時05分頃に東北新幹線 福島～白石蔵王駅間で保守用車両（確認車）から油漏れが発生し、一部がレールに付着していたことから、拭き取り作業を行ったため、東北新幹線 東京～仙台駅間において、運転を見合わせました。

多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

本事象について、これまでに判明した状況について報告いたします。

### 1. 概況

4月2日（火）5時05分頃に東北新幹線 福島～白石蔵王駅間の下り線において保守用車両（確認車）の油圧低下アラームを検知し、エンジンオイルの油漏れが判明しました。当該保守用車両については、現地でふき取り等の処置を行った後、予備のエンジンを使用し保守基地に収容しました。保守用車両（確認車）の走行区間で漏れた油がレールに付着している可能性があることから、当該区間の点検と油の拭き取り作業を行い、運転を見合わせた東北新幹線は、12時30分に運転を再開しました。

※油圧低下アラーム：エンジンオイルが一定量減った場合に検知するシステムです。

### 2. 原因

エンジンオイルがエンジン部から漏油しました。漏油原因については、調査中です。（別紙参照）

### 3. 輸送影響

東北新幹線 東京～仙台間において、6時58分より運転を見合わせ、12時30分に全線運転再開しました。※運休76本 遅延20本（最大332分の遅れ）

約43,500人のお客さまにご迷惑をおかけしました

### 4. これまでに判明した状況

- ・当該の保守用車両（確認車）の作業内容について

福島～白石蔵王駅間の線路確認作業※を行いました。

※線路確認作業：新幹線の安全運行を確保するため、工事の後、始発列車前に線路や架線に異常がないことを保守用車両（確認車）により確認します。

- ・保守用車両（確認車）について

- (1) 保守用車両（確認車）の種類

確認車（R600型） 新潟トランスス(株)製（2022年製造）

- (2) 点検年月日

年次検査 2024年2月5日～3月9日（異常無し）

始業点検 2024年4月1日（異常無し）

(3) 油漏れ部位

エンジン部 (別図)

(4) 油種及び漏油量

エンジンオイル (約20L)

・ レール拭き取り作業

(1) 油漏れ範囲 (別紙参照)

東北新幹線 福島～白石蔵王駅間

(下) 260k900m付近 (保守用車両停車位置) ～ (下) 277k400m付近 右レール L=16,500m

(2) 作業内容

約70人で油吸着マット等によるレール拭き取り作業を行いました。

5. 今後の対応

- ・ 当該保守用車両 (確認車) については、本日、詳細点検により油漏れ発生原因の調査をしています。
- ・ 同形式の保守用車両 (R600型) については、点検を実施して油漏れに対する確認できるまで使用中止としています。

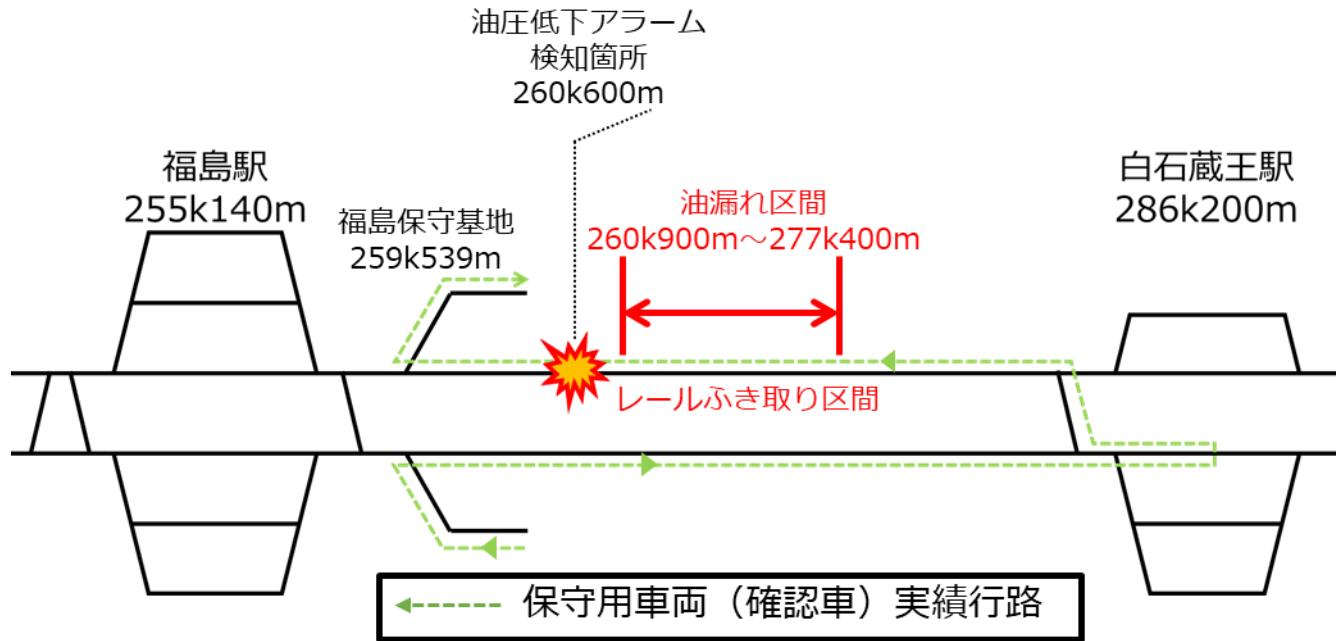
6. その他

(1) 同形式の保守用車両の使用開始時期と使用台数

2014年度からJR東日本管内で使用しており、現在25台使用しています。

多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

発生位置図



油漏れ発生箇所

【確認車 (R600 型) 全景】



【漏油箇所】



【エンジン位置図】

